【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公開番号】特開2007-290977(P2007-290977A)
【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-043
【出願番号】特願2006-117846(P2006-117846)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/216　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/30　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　2/52　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　2/38　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/216　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　17/18
Ａ６１Ｐ　1/16
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ２３Ｌ　1/30　Ｚ
Ａ２３Ｌ　2/00　Ｆ
Ａ２３Ｌ　2/38　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月6日(2009.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明の活性酸素消去酵素の活性向上剤の有効成分であるクロロゲン酸類等は、そのまま服用してもよいが、好ましくは薬学的に許容されうる塩の形で、賦形剤、担体等の薬品及び食品分野で慣用の補助成分、例えば乳糖、ショ糖、液糖、蜂蜜、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、各種ビタミン類、クエン酸、リンゴ酸、香料、無機塩などとともに、カプセル剤、錠剤、粉末剤、顆粒剤、ドリンク剤、注射剤、点滴剤等にすることができる。